令和４年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立第七小学校

１．本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

・対全国比の平均正答率は国語、理科では同程度、算数では高くなっています。
・国語の調査では「言葉の特徴や使い方に関する事項」について良好な結果でした。一方で「話すこと・聞くこと」や「書くこと」については課題がありました。
・算数の調査では「知識・技能」「思考・判断・表現」について良好な結果でした。学習内容でみると、「図形」「変化と関係」の領域の正答率が良好でした。一方で「データの活用」の領域については課題が見られました。
・理科の調査では「エネルギー」を柱とする領域について良好な結果でした。一方で「粒子」を柱とする領域について、課題が見られました。また、「思考・判断・表現」について良好な結果でした。本校で、実験の結果からの考察や、１時間の授業を通してのふりかえりを丁寧に行ってきた成果だと思われます。一方で、「知識・技能」については課題がありました。
・すべての教科で無解答率が全国平均よりも低く、課題に対し粘り強く取り組むことができています。

２．各教科における成果と課題について

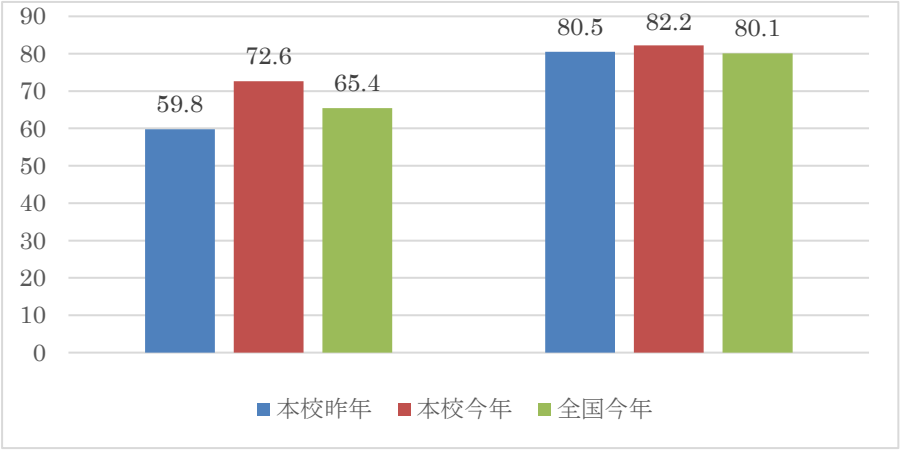
	成　果	課　題
国語	・話し合い活動等で、必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることが概ねできていました。 ・物語の全体像や、人物像を具体的に想像することが概ねできていました。 ・文章の中で正しい漢字を使うことがかなり良好な結果でした。	・話し合い活動等で、互いの立場や意図を明確にしながら、自分の考えをまとめることに課題があります。そのため、与えられた複数の条件全てを満たした文章を作成することが必要となります。 ・物語文の表現の効果について考えることに課題があります。 ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることに課題があります。
算数	・２つの数量の関係について考察すること（割合の問題）が良好でした。基本的な割合の問題については、かなり良好でした。 ・図形の意味や性質を基に図形の構成の仕方を考察することがかなり良好でした。	・被乗数に空位のある整数の乗法の計算（１０５０×４）に課題があります。 ・表の意味を理解し、目的に応じて分類整理されたデータの特徴を捉え、考察することに課題があります。
理科	・提示された情報や観察などで得た結果、自然の事物・現象を複数の視点や気づきの視点で分析・解釈することが良好でした。 ・実験器具の名称についての理解はかなり良好でした。 ・自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができることについて、良好でした。 ・問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録することについて良好でした。	・３，４年生の学習内容について、知識理解の定着が不十分な単元（昆虫の体のしくみ、水蒸気）があります。そのため、定期的に過去の学習内容について、復習が必要となります。 ・実験器具の正しい扱い方については、正答率が低く、課題があります。 ・予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想することに課題が見られます。

３．児童質問紙調査の結果の概要について（肯定的評価の割合）

〈取組みの成果があらわれている、または特徴的であると思われる事項について〉

自分の考えを伝える機会では、自分の考えが伝わるよう、工夫して発表している。

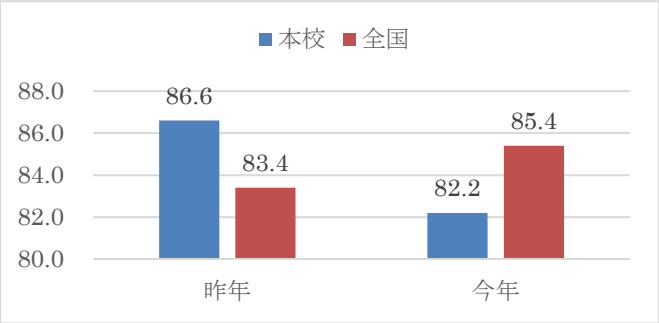
話し合いを通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。



上の２つの項目について、肯定的な回答が全国平均よりも上回っています。本校の研究テーマ「主体的・対話的で深い学びの育成」の実現に向けた授業づくりの成果が、子どもたちの学びの資質・能力の向上につながっています。

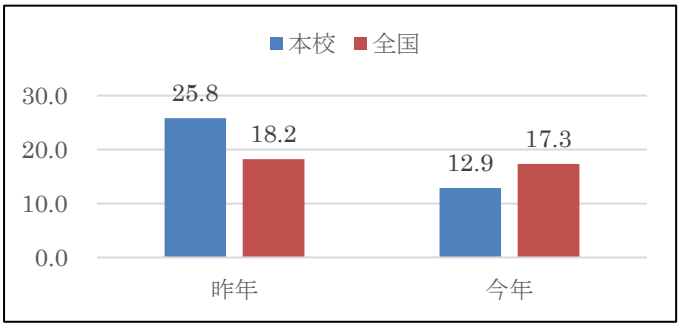
〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

学校に行くのが楽しい。



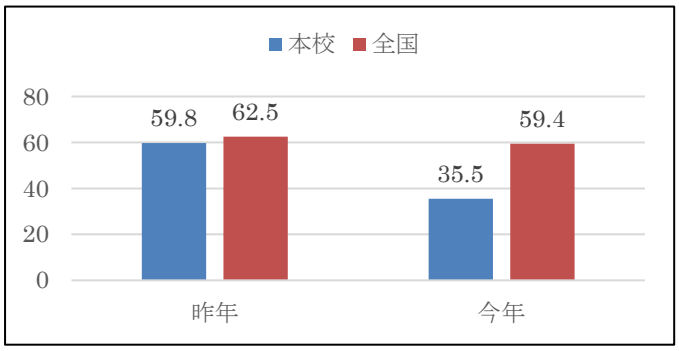
「学校に行くのが楽しい。」という質問に対して、昨年度は本校の肯定的な回答の割合が全国平均より上回っていましたが、今年度は下回っています。また全国的には、昨年度と比べ、今年度に肯定的な回答の割合が増加していますが、本校は、減少しています。

平日、学校の授業時間以外に１日１時間以上読書をする



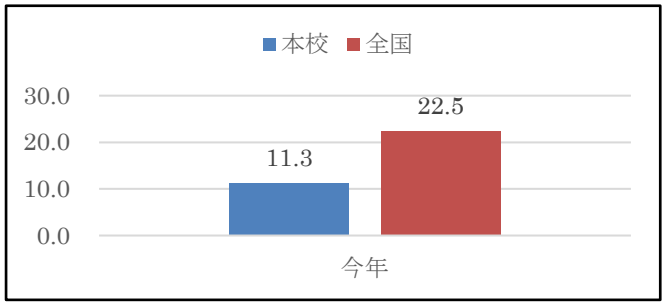
平日の読書の時間については、全国的に減少傾向にありますが、本校は１日１時間以上読書をしている児童の割合が昨年度までは全国平均よりも上回っていましたが、今年度は全国平均を下回っています。

平日、学校の授業時間以外に１日１時間以上勉強をする（塾等含む）



平日の授業時間以外の勉強時間について、１日１時間以上勉強している児童の割合が、全国平均よりも下回っています。
（勉強時間が 30 分以上１時間未満の児童の割合は、全国平均よりも上回っています。本校 33.9%、全国 25.8%）

学校の授業の中で、意見を交換する場面で、ICT 機器を週３回以上使っている。



学校の授業の中で、意見を交換する場面で、ICT 機器を週３回以上使っていると回答した児童の割合が全国平均を下回っています。（週１回以上、月１回以上使っていると回答した児童の割合は全国平均を上回っています。週１回以上…本校 30.6%、全国 26.9%　月１回以上…本校 35.5%、全国 24.2%）

４．成果と課題を踏まえた今後の取組みについて

（１）基礎・基本の確実な習得

「主体的で対話的で深い学び」を実現するために、基礎基本の学習内容の定着を図ります。既習事項をふまえた単元の導入に取り組んでいくことをふまえ、その反復確認も行っていきます。

【具体的には…】

・１年生から積み上げてきた漢字の書き取りについて、成果が出ているので、今後も継続していきます。

・正しい用語や概念の習得、実験道具等の正しい操作方法の習得を丁寧に行っていき、意味理解を大切にします。

・意味理解を深めるために、さまざまな教具や ICT を活用して視覚的に理解できるように授業を工夫して行います。

・家庭学習の充実を図るために、年度当初に家庭学習の取り組み方や学習の内容を例示した「家庭学習の手引き」を配付しました。

（２）魅力のある授業づくり

子どもが「やってみたい」「考えてみたい」と思う課題の設定を心がけます。そのためにも、生活のなかの身近な題材など、子どもの興味をひく導入を考えていきます。また、「１時間のめあて」や「単元を通しためあて」を明確に問題解決的な学習展開を行い、「自分で考える」「伝え合う」「練り上げる」思考場面を充実させます。この一連の学習過程を通して「主体的で対話的で深い学び」を実現させていきます。経験年数の少ない教員の授業力のさらなる向上をめざし、中堅、ベテラン教員、専門性をもった教員が「校内ミニ学習会」の講師となり、学校全体の教育力をあげていく取組みも継続して行っていきます。

【具体的には…】

・学習内容によって、生活経験と関係付けて話し合う場を設定するなど、授業展開を工夫していき、日常生活と既習の内容が結び付けられるようにします。

（３）言語活動の充実

子どもたちの資質・能力を育成するため、校内研修テーマ「子どもが主体的・対話的で深い学びができる授業をめざして」を基軸とし、特に「伝えたいことを明確にして書く力」を育むことで、言語能力の育成をめざします。日々の授業の充実とともに全学年で校内研究授業を行い、教職員同士が相互評価できる場の充実を進めます。

【具体的には…】

・物語文の学習では、登場人物の気持ちに終止せず、文章のおもしろさや表現の工夫について考えていきます。

・日々の振り返りの時間を充実させるために、中学年以上は１００字のマスプリントに設定されたキーワードを使って書くことを増やしていきます。

・さまざまな教科で、複数の写真や表、グラフなどの資料を活用した問題解決型の授業を行う機会を増やしていきます。

５．保護者・児童のみなさんへ

＜保護者のみなさんへ＞

・「朝ごはんを毎日食べている」と答えている児童の割合が９３．５％で、全国平均（84.9%）を大きく上回っていました。また、「毎日、同じ時刻に寝ている」「毎日、同じ時刻に起きている」についても、肯定的な回答の割合が全国平均を上回っていました。「早寝、早起き、朝ごはん」といった規則正しい生活にもご留意いただき、子どもたちが心身ともに健やかでたくましい成長を支援していただいていることもこの調査の結果からみることができました。

・国語・算数・理科のどちらの教科においても無解答率が低く、粘り強く問題に取り組むことができていました。

・携帯電話やスマートフォン、PC のゲームをしている時間が長いという結果でした。（４時間以上…本校 25.8%、全国 17.2%）また、携帯電話やスマートフォン、PC の使い方について、家の人と約束事を決めていないという回答の割合が高い結果となりました。（本校 19.4%、全国 11.2%）近年、小学生によるネット、SNS 等によるトラブルが増加しております。お子さまの ICT 機器の利用状況につきましては、定期的な把握とご指導をよろしくお願いいたします。

＜児童のみなさんへ＞

・どの学習にもとても意欲的に粘り強く取り組むことができています。その成果は今回の全国学力・学習状況調査にも表れていました。国語、算数、理科の勉強が「好き」と回答した割合がどの教科についても全国平均を上回っていました。また算数、理科の勉強は「将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した割合がどちらも全国平均を上回っていました。今回の調査で国語、算数、理科の問題で、解答を文章等で書く問題がありましたが、どのように解答したかという質問に対して、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合がどの教科も全国平均を上回っていました。これからも、授業に対して常に前向きに取り組み、学んだ事の中から、さらに調べてみたいことや生活に役立てていく方法などを自分から見つけて、学習を深めていってほしいと思います。

・学校の授業以外での読書時間、勉強時間が全体的に少ないようです。おうちで自由な時間ができたときには、「読書」や「自主学習」をする時間を設定し、計画的に学習する習慣を身につけていきましょう。